



2016.4
No.552

一般社団法人
群馬県労働者福祉協議会
〒379-2166 前橋市野中町361の2
TEL027(263)3443
URL <http://www.gunma-rofukukyo.or.jp>
e-mail:post@gunma-rofukukyo.or.jp
発行責任者 金子裕昭

奨学金制度の改善、給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減の実現に向けた院内集会開催される！

署名数は300万筆を突破しました！！



神津中央労福協会長のあいさつ

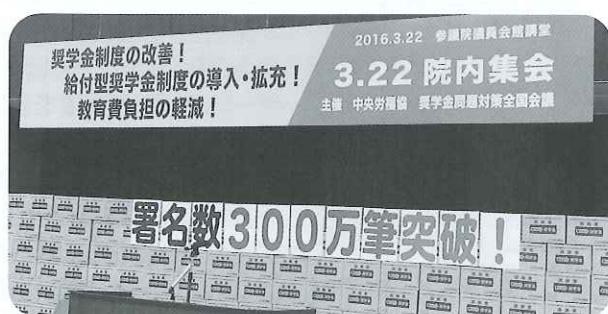
3月22日（火）参議院議員会館にて奨学金制度の改善を求める院内集会が開催され、群馬県からは金子専務が参加しました。

神津中央労福協会長の挨拶の後、大内裕和中京大学教授（奨学金問題対策全国会議共同代表）より、奨学金の現状や課題についての基調講演がなされるとともに、当事者の声として、学生の現状や返済当事者から「やっと就職できても、返済に追われるばかりで、何のために働いているのか…と思う。たしかに、借りたものは、返すのは当然だがそれ以前に、利子、延滞金、ブラックリストといったことに苦しめられている。教育を学び、担う若者に対して、もっと希望ある制度になってほしい。」との訴えを共有しました。

また、各党代表の挨拶や賛同議員、出席議員の紹介や各団体の取り組み報告がなされました。

中央労福協には301万3,851筆（3/18現在）の署名が寄せられ、ぐんま労福協では皆さんにご協力いただいた13,351筆（66団体・個人）を提出しています。なお中央労福協は、院内集会開催前に総理官邸において、神津会長より301万筆を超える署名の目録を添えて要請書と署名名簿の一部を世耕官房副長官に手渡し、政策実現への対応を要請しました。花井事務局長からアンケート結果の説明を行い、大内代表からは「超党派で取り組む政策課題」とするよう、また、岩重弁護士は「現場の実情を聴取しつつ制度改善を図るよう」訴えました。

ぐんま労福協としても、引き続き、中央労福協と連携し奨学金問題への取り組みをおこなっていきますので、皆様の協力をお願いいたします。



署名は300万筆を突破



官邸での署名簿提出・要請行動



各党からも賛同議員が参加

ぐんま労福協 第3回勤労者福祉セミナー

地域に元気を！笑いを！
を開催しました。

2016年3月5日、玉村町文化センターにおいて2015年度第3回勤労者福祉セミナー「地域に元気を！笑いを！」を開催しました。第3回は、生活改善が実感できず閉塞感が漂う中、笑いで地域を明るくすること目的としたお笑いステージとしました。

出演は、吉本興業所属、群馬県住みます芸人・アンカンミンカンと埼玉県住みます芸人・天狗の二組。

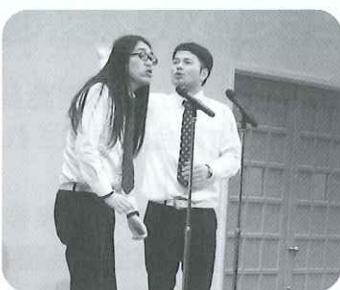
事前集約では100名ほどの申込でしたが、当日までの上毛新聞での紹介もあり、全体で120名を超える方に参加いただきました。

ステージでは、アンカンミンカンの“上毛かるた”を題材とした軽妙なトークや会場とのやり取り、また天狗はテレビでも披露している“メガネの上のまんじゅうを、手を使わずに食べる”得意ネタが披露されるなど会場は大いに盛り上がりました。じゃんけん大会では、二組の芸人さんの色紙と景品が提供され、楽しいひと時となりました。

これまで労福協がテーマ設定した講演会とは趣の違う「セミナー」となりましたが、参加者からは「楽しかった」との声もいただいており、ほっとしたひと時を提供できたのではないかと思います。



アンカンミンカン



天狗



じゃんけん大会



勝ったのは？



ボウリングを楽しみ、交流を深めました！

2015年度 第2回出会いの広場

2015年度第2回「出会いの広場」は、2月27日、パークレーン高崎を会場にボウリングを通じた交流のきっかけを作ることをめざし開催しました。当日のキャンセルもあり男性10名、女性12名の参加を得、例年よりは少数精鋭での開催となりました。



ゲーム開始は握手から

開会式では、齊藤常務よりけがなく楽しい交流となるようお願いしました。パークレーンのスタッフの方からゲームの留意事項を説明していただき、齊藤常務の始球式でゲーム開始となりました。



齊藤常務の始球式

ボウリングは、個人戦2ゲーム(女性ハンディ10P)と団体戦2ゲーム(レーンごとに一投ずつ投球する方式)で行いました。

ゲーム開始直後は緊張もあり静かな立ち上がりでしたが、ストライク(ガータ?)が出るごとに徐々に緊張もほぐれハイタッチが各レーンで交わされていました。ストライク賞には「健康加齢」(レトルトカレー)が渡され、複数個を手にするツワモノも。

また、一人一投ずつ順番に投球するレーンごとの対抗戦は、多くの参加者の方から協力し合って楽しかったとの声をいただいています。



だんだん話が弾みます



スペアが取れました

ゲーム終了後、ミーティングルームにて表彰式を交えた交流時間となりました。女性のハンディカップを10ポイント／1ゲームとしましたが今回は上位3位までが男性が占める結果となりました。

飛び賞や最多ストライク賞、最多スペア賞の表彰では会場が大いに盛り上がりました。

参加者が比較的少数だったことや交流会を約2時間確保したことでコミュニケーションを深めることができました。

この交流をきっかけとして素敵なカップルができる事を期待しています。

ろうきん**2015年度(平成27年分)****確定申告相談会を開催!!**

中央ろうきん群馬県内の各営業店では、公的年金を受給し、年内に医療費や雑損・生命保険料・社会保険料・扶養・障害・寄附金などの各所得控除がある方などを対象とした確定申告の相談会を毎年開催しています。

2015年度(平成27年分)については、1月28日(木)の桐生支店を皮切りに2月29日(月)富岡支店までの13支店で、延べ24日間に亘り開催されました。延べ325名のくろうきん>職員が相談会の運営に携わり、関東信越税理士会群馬県支部連合会からの延べ60名の税理士が、合計2,203名の方の相談対応に当たりました。また、各会場では、くろうきん>友の会の会員の皆さんも、来場された方の受付や、誘導などをサポートすることで円滑な運営を図ることができました。

今年度の相談結果は、還付1,804件62,343千円、納税194件6,016千円、住民税138件の申告書の作成の手伝いをすることができました。

今回の特徴点は、退職後初めて申告に訪れる方の割合が多かったことや、退職金からの税還付が可能となる方の割合が高かったことなどが挙げられます。また、年金受給者の申告不要制度が周知されておりますが、ご自身では申告の要否に見極めがつかず、ご相談にお越しになる方も多くみられました。

このように、くろうきん>では「お客様の生涯のパートナー」であり続けるための、様々な取組みを行っています。

**第57回定期総会開催のお知らせ**

一般社団法人群馬県労働者福祉協議会第57回定期総会を下記の通り開催します。

記

1. 日時 2016年6月13日(月)午前10時より

2. 会場 群馬県勤労福祉センター第一会議室

3. 議題

①第1号議案 2015年度事業報告及び決算報告

②第2号議案 2016年度事業計画及び収支予算案について

③第3号議案 群馬トラベルセンターへの連帯保証について

④第4号議案 理事・監事の改選について

以上

一般社団法人群馬県労働者福祉協議会

中央労福協

第1回地方労福協会議

当面の活動方針が確認されました。

3月10日～11日、明治大学紫紺館(東京)において、2016年度第1回地方労福協会議が開催され、金子専務が出席しました。

中央労福協及び各地方労福協からの報告の他、特別報告として連合組織拡大・組織対策局長下田祐二氏より「『勤労者の暮らしにかかるサポート事業の当面の確認事項』を踏まえた具体的対応について」報告を受け、奨学金問題対策全国会議事務局長岩重佳治氏からは「奨学金問題をめぐる状況と課題について」講演を、また、厚生労働省生活困窮者自立支援室長本後健氏より「生活困窮者自立支援制度の現状と課題」と題して講演が行われました。

また、中央労福協2016年度活動計画の重点課題について議論が行われ確認されました。



安中碓氷地区労福協

『青年・女性交流会』を開催!



皆さん緊張気味です

安中碓氷地区労福協は2015年12月9日、次世代を担う若年層組合員の育成と交流を目的に『青年・女性交流会』を開催しました。3回目となる今回は、地区内の10代から30代の63名の方の参加がありました。

まず、中央ろうきん安中支店長代理五十貝さんより、労福協の組織と活動を知つてもらうために「労福協とは」をテーマに説明を行い、グループに分かれての「ビンゴ大会」と「懇親会」で交流を深めました。

参加者からは、「労組間で交流ができ楽しかった」「開催をきっかけとして意見交換等ができるようになった」などの感想が寄せられています。

註：なお、安中碓氷、藤岡、富岡の3地区労福協は、2016年4月より西部地区労福協として活動します。



渋川地区労福協

あなたも蕎麦打ち名人!

渋川地区蕎麦打ち体験講習会



3月26日(土)、渋川地区労福協では、毎年恒例となつた「蕎麦打ち体験講習会」を開催し、大人・子どももあわせて20名が参加しました。その日の気候に合わせて微妙に水分量を決めるところは蕎麦の奥深さを感じますが、約1時間かけて蕎麦粉にまみれての悪戦苦闘となり、蕎麦の太さがいびつなところに手打ち感が出ていました。出来上がった蕎麦は各自が自宅に持ち帰つての試食となりましたが、自分で打った蕎麦の味は格別な・・・はず。

3地区が合体しても、渋川地区恒例のこの行事は継続していきたいものですし、新たな恒例行事として広がることを期待します。

註：なお、利根沼田、吾妻、渋川の3地区労福協は、2016年4月より北部地区労福協として活動します。



冠婚葬祭は、福対協へ。

☎ 027-253-3001
FAX.027-253-4355

「もしも…」のとき、
「おめでたい」とき、
まずは福対協に
お電話ください。



生花・花輪

生花のご注文も承ります。

1基1段(並)
10,000円+消費税

1基2段(並)
15,000円+消費税

1基1段(大)
15,000円+消費税

1基2段(大)
20,000円+消費税

花輪も、「特別価格」で、ご手配いたします。

※県内一部および県外、会場によっては、金額の変更・種類の指定となる場合がございます。※花輪については、配達地域に限り「特別価格」で承ります。
※生花については、会場により持ち込み料が発生する場合がございます。※ご注文の際は、ファックスによりご用命賜りますようお願いいたします。



夜間・土・日・祝日は、直接「日典ラサ」にお電話ください。

☎ 027-324-9999 FAX.027-325-1900

お電話・FAXの際は、福対協扱いとお伝えください。

365日
24時間
受付